

令和4年度 学校関係者評価結果

宮城県大河原商業高等学校

評価分野	評価項目	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	意見・改善案等
学習指導	① ICTを活用した授業展開の工夫	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの持続的蔓延により何事も制限される中、状況に応じ柔軟に工夫・対応されている。 ・全体的に改善が見られるが、生徒全員にタブレットが支給されることが望ましい。 ・今後は、パソコン、タブレット、スマホ等でのオンライン授業ができ、学校や家庭の負担がないようにできるといい。 ・欠席者や不登校の生徒にもオンラインでの単位修得ができれば良いと思う。
	② コロナ禍における学習活動の充実	A	A	
	③ 適切な評価基準の導入	B	B	
	④ 生徒理解に基づく学習指導	B	B	
生徒指導	① 部活動や生徒会活動の充実	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・統合を迎えて難しい次期であるが、生徒が充実した学校生活を送るために最大限の努力をお願いしたい。 ・諸活動への参加を促し、自ら考え公序良俗（基本的生活習慣）を正しく判断させる機会を設けることは重要で良いと思う。 ・スマホの使用と生活習慣、服装等の乱れは関連するので、更なる家庭との連携した都費組が必要ではないか。
	② 学校行事や社会活動等への参加促進	A	A	
	③ スマートフォン等の適切な使用	B	B	
	④ 基本的生活習慣の確立	B	B	
進路指導	① 進路目標の早期設定	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の進路目標を持つことはとても重要で大切なことである。収集した情報提供の在り方も努力されている。 ・進学の情報他に奨学金の情報もお願いしたい。 ・生徒の進路に対する判断と意気込みが十分にくみ取れる。
	② 進路に関する情報提供	B	A	
	③ キャリア教育の推進	A	A	
	④ 個に応じた進路指導の充実	A	A	
防災・安全	① 感染症予防及び拡大防止対策	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎そのものが高齢化しているが安全対策を十分にしていると感じた。 ・学校の安全に対する取組が十分に生かされている。 ・大商通信、大商祭、授業公開等の情報発信の努力が見られる。 ・地域への発信にもう少し工夫をしてはどうか。
	② 危機管理意識の向上	B	A	
	③ 教育相談やSCの活用	A	A	
	④ 開かれた学校づくり	B	B	